

ニューツーリズムの創造

潜在的観光ニーズに応えて

NO！→YES！→WELCOME！の実現

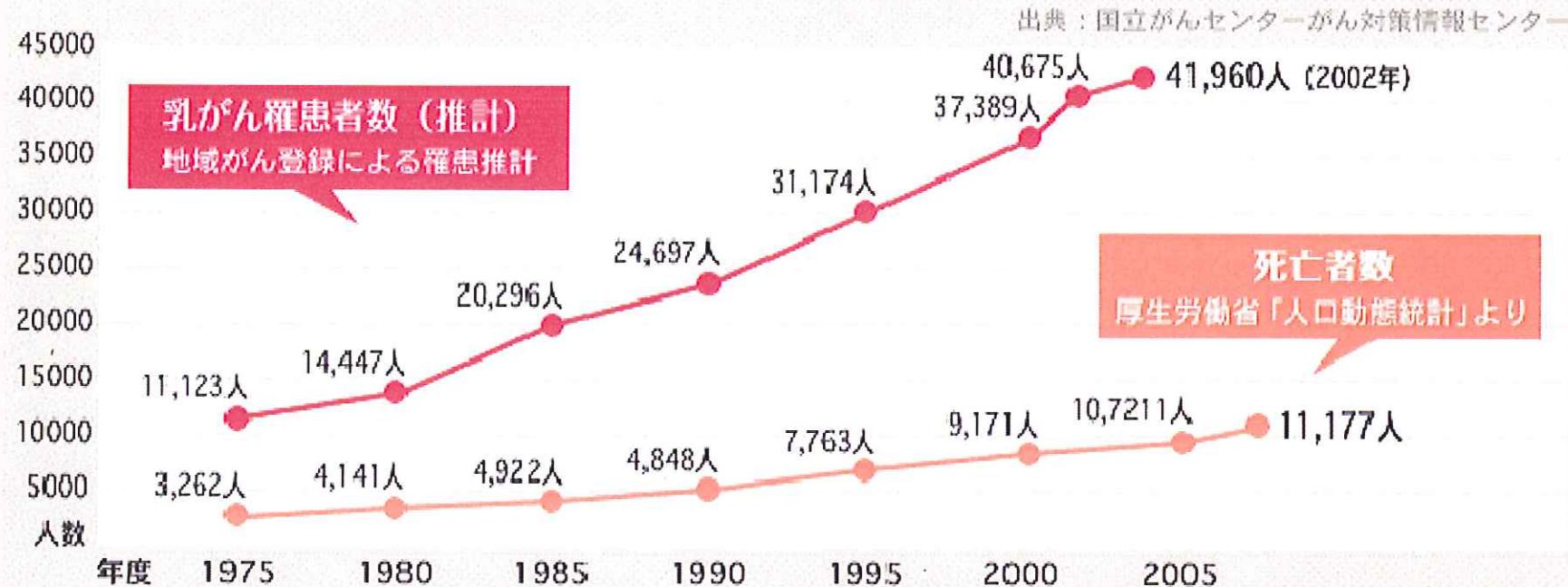
日本乳がんピンクリボン運動・ウェルカム温泉ネットワーク



NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)
事務局長・松田寿美子
<http://www.j-posh.com>

乳がん罹患率の推移と検診率

乳がんの罹患者数と死亡数の推移

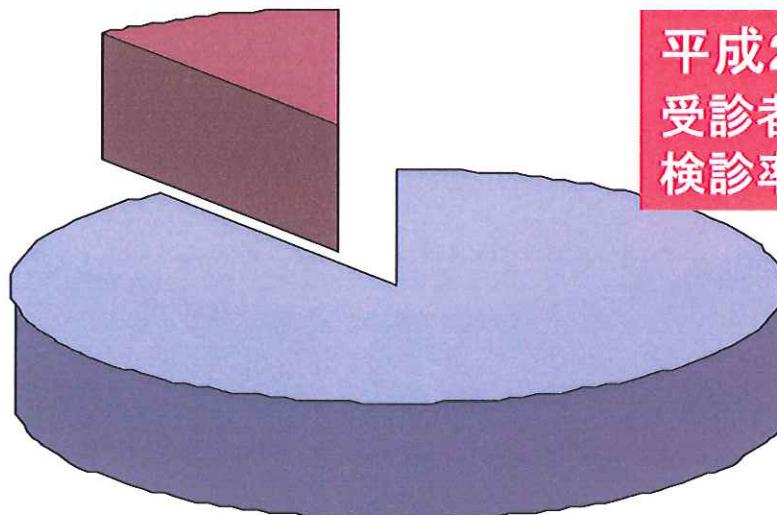


日本女性16人に1人が罹患

2004年には推計数:50,549人

国立がんセンターがん対策情報センターのHPより

乳がん市町村検診の実態



平成20年度厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

現在日本の検診率は欧米と比較して
(英國75%、米国65%以上、ノルウェー79.5 % 等)大変低いが
欧米並みの水準になると、日本の乳がん罹患者数は大幅に増加することが推測される

平成17年度
全国がん発見者数は
5,356人
受診者数: 約227万人
検診率: 17.6%

平成18年度
全国がん発見者数は
4,529人
受診者数: 約163万人
検診率: 12.9%

平成19年度
全国がん発見者数は
5,190人
受診者数: 約189万人
検診率: 14.2%

温泉は、心身ともに癒しの場

患者さんと家族の希望は
病気になる前と同じように
子供、家族、友達…と温泉に入りたい！

温泉に入れない理由(障壁)

県条例により

浴槽内への手ぬぐい類(タオル・スポンジ等)の持ち込みや、浴槽内を著しく不潔にする行為は
禁止されています

そのため



浴槽内でタオル等で手術の傷跡を隠すことが出来ない

- 一般の入浴者のいる大浴場には入りづらい
- 大きな手術跡があるため、乳房を全切除したために、周りの視線が気になって温泉に行きづらい
- 温泉に行っても、人が少ない時間または夜中にこっそり入浴する必要があり

自由貸切・24時間入浴可能等条件の限られた温泉や旅館を選ばなくてはならない

ストレスになり、温泉に行きたいけれど行けない理由になる

全国の乳がん患者さんや患者会から自由貸切の可能な温泉施設に関する
NPO法人J.POSHへの問合せが増加

NPO法人J.POSHの取組み事例(平成18年度から)

乳がん患者会活動への助成金支給

主な助成金活用事例

●日帰り温泉貸切旅行の入浴料

助成対象患者会報告書から抜粋

- 勇気がいる温泉にみんなでつかり、身も心もホッとしました。
- 参加者の「手術を受けてから初めて温泉に入れた」声も多く、この活動の意義を改めて痛感しました。
- 温泉に入ったことで、ふさぎこんでいた気持ちが晴れました。

「入浴着」とは

乳がん・腫瘍・皮膚移植等の皮膚に重大な傷等の残る手術をうけられた方々が同浴者の目を気にすることなく入浴が楽しめるように、傷跡をカバーするため専用に開発・製造された入浴用肌着



衛生管理面では

- 専用の入浴着を入浴直前に着用し、浴槽に入る前には付着した石鹼分をよく洗い流すなど清潔な状態で使用されている場合は、衛生管理上の問題はありません
- 県条例により浴槽内への手ぬぐい類(タオル・スポンジ等)の持ち込みや浴槽内を著しく不潔にする行為は禁止されていますが、入浴着の着用はこれにあたりません。

長野県・北海道・熊本県公式ホームページより

温泉・旅館、行政での入浴着着用の受け入れ・広報の現状は
NO！またはYES！

大浴場での入浴着着用は、NO！の温泉・旅館もある



YES！ではなく、WELCOME！に
(積極的に推進し、歓迎しよう！)

日本乳がんピンクリボン運動・温泉ウェルカムネットワーク

NO ! ⇒ YES ! ⇒ WELCOME !

J.POSH温泉パートナーへの参加を通じて
入浴着(市販品または市販品と同様の素材で作られたもの)を着用しての
大浴場の利用可能に積極的な施設(温泉・旅館)の全国ネットワーク作り

具体的には、「J.POSH温泉パートナー」として

- NPO法人J.POSHのHPにて、参加温泉・旅館情報を公開(相互リンク)
- 全国都道府県・市町村での広報およびネットワークへの参加促進
- ネットワーク参加施設宣言(フロント等でネットワーク参加ステッカーの表示、HPでの広報)
- 参加旅館内で、入浴施設を利用する人たちに入浴着を着用したまま浴槽に入っても衛生管理上問題がないことの理解と入浴着着用での入浴を促すためのポスター掲示やチラシの配架
- 旅館付帯物のゆかた同様に、入浴着の貸出サービスの実施 等

J.POSH温泉パートナー:暁神温泉(長野県)の事例



体の傷あとをカバーする「入浴着」
暁神温泉は着用を歓迎します。

乳がんの手術などで
入浴の際に着用する入浴着をご存知ですか?

衛生面でも問題がないように作られた
入浴用の肌着のことです。

暁神温泉では

「ピンクリボン運動」に賛同し
この入浴着の着用を歓迎します。

入浴着を着用されている方には
ゆっくり安心してお湯を楽しんでいただき

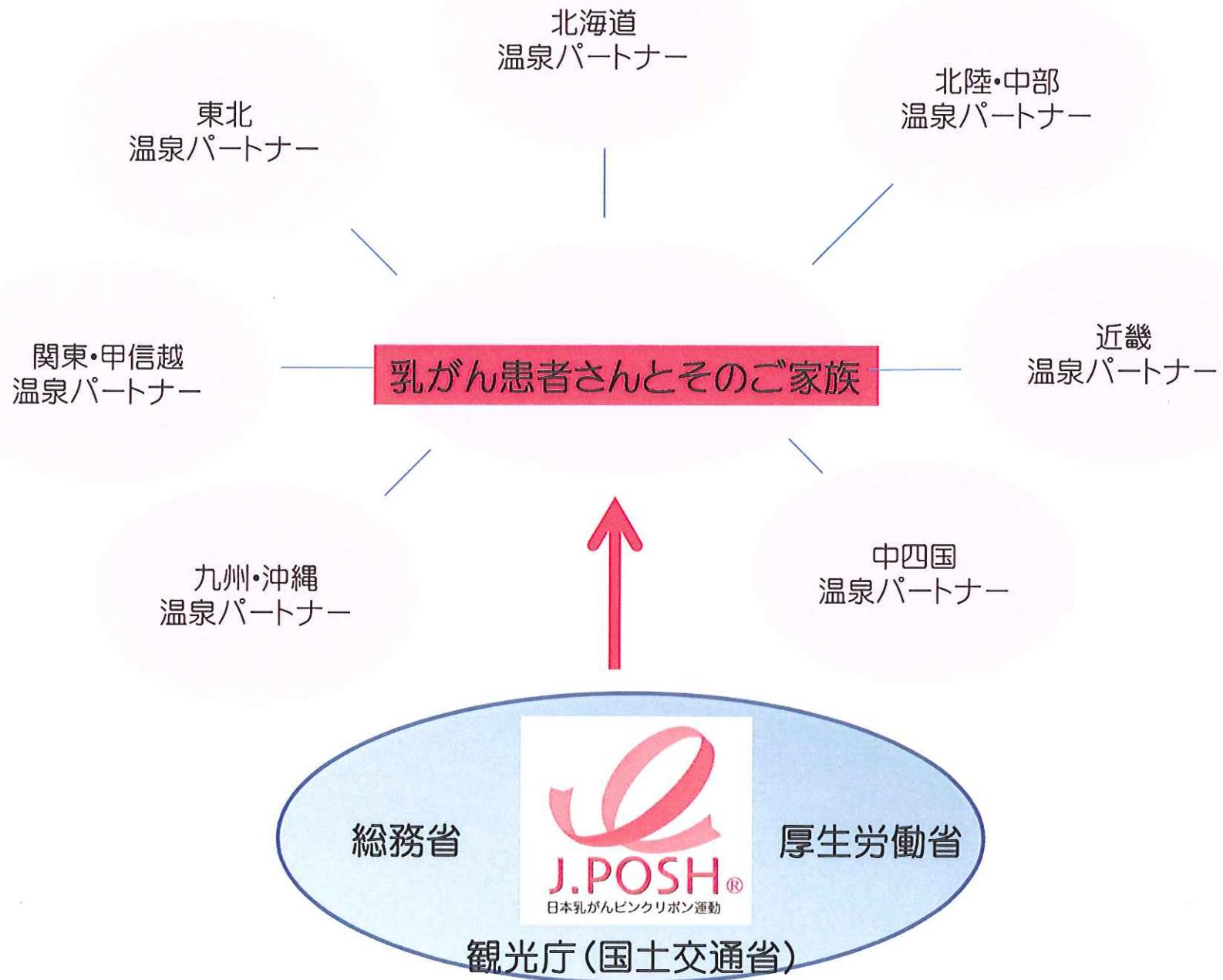
まりの皆さんには
温かい気持ちで理解いただければと思います

暁神温泉は

そのお湯のようにな
どなたにも優しい温泉でありたいと
考えています。

- 暁神温泉の入浴着を着用しての大浴場の利用可能施設数:17の旅館・ホテル

- 3月25日を「ピンクリボンの日」と制定し、当日は日帰り入浴施設「湯ったりーな暁神」の定休日を利用し、施設を乳がん患者さんとその家族の貸切としている。



日本乳がんピンクリボン運動・温泉ウェルカムネットワークの効果

NO！⇒YES！⇒WELCOME！効果

- 乳がんを代表する腫瘍や皮膚移植等の疾病に対する理解と啓発効果
- 患者さんとその家族のこころのケア効果
- 潜在的観光ニーズの掘り起こし効果
- ニューツーリズム創造効果
- 温泉地の活性化(全国の温泉への来湯促進)効果
- 女性に優しい温泉地としてのイメージアップ効果